

教育委員会点検・評価報告書

(平成24年度評価)

平成25年8月

恵那市教育委員会

目 次

第1章 点検・評価制度の概要

- 1 点検・評価の目的1
- 2 点検・評価の対象1
- 3 点検・評価の方法2

第2章 教育委員会の活動状況についての点検・評価3

- 教育行政評価委員会からの意見5

第3章 教育委員会の行う事務事業の執行状況についての点検・評価7

- 教育行政評価委員会からの意見21

(参考資料)

- ・ 恵那市教育委員会点検評価実施要領24
- ・ 恵那市教育委員会組織図27
- ・ 平成24年度恵那市教育委員会提出議案等28

第1章 点検・評価制度の概要

1. 点検・評価の目的

恵那市教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、教育委員会の主要な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るものです。

また、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進いたします。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規程により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規程により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象

教育委員会は、「恵那市教育委員会点検評価実施要領」（平成21年4月1日決裁）に基づき、平成24年度の教育委員会の事務事業等について、次の内容の点検・評価を実施しました。

- (1) 教育委員会の活動状況に関する事項
 - ア 教育委員会の会議の実施状況
 - イ 教育委員会の調査活動の状況
- (2) 事務事業の執行状況に関する事項
 - ア 恵那市総合計画に掲げる主要施策の執行状況
 - イ 恵那市総合計画に掲げる主要施策の執行による成果
- (3) その他教育委員会が必要と認める事項

3. 点検・評価の方法

点検及び評価にあたっては、次の評定基準により、達成度についてその評価を行っております。

評定区分	評 定
A	目標を大きく上回る実績
B	目標をやや上回る実績
C	目標どおりの実績
D	目標をやや下回る実績
E	目標を大きく下回る実績

なお、地教行法第27条第2項に規定されている「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」については、「恵那市教育委員会点検評価実施要領」に基づき、評価委員会を設置し、評定結果に対する意見の聴取を行いました。

<恵那市教育行政評価委員>

(敬称略／氏名五十音順)

役職名	氏 名	公 職 等
委員	安藤 憲男	恵那市PTA連合会会長
職務代理者	黄地 尚幸	恵那市まちづくり市民協会
委員	川口 裕二	恵那市小中学校校長会会長
委員	中嶋 恵子	保護司
委員長	林 達夫	東海学院大学短期大学部 非常勤講師

第2章 教育委員会会議等の点検及び評価

	実 績	成 果・課 題
教育委員会会議の 実施状況	<p>開催回数</p> <p>定例会議 12回 (12回)</p> <p>臨時会議 3回 (2回)</p> <p>審議件数</p> <p>議案 18件 (30件)</p> <p>うち可決したもの 18件 (30件)</p> <p>協議事項 4件 (9件)</p> <p>報告事項 93件 (91件)</p> <p>その他教育長報告 12件 (12件)</p> <p>※ () 内は前年度実績</p> <p>※議案案件の詳細については別紙 に掲載</p>	<p>【成果】</p> <p>月1回の教育委員会定例会を開催し、議案審議及び協議、報告を行い、委員による意見交換が行われた。その中で、主要事業については年度当初に主管課の課長から課題や実施方策について説明を受け、毎月進捗状況を確認した。そこで出た教育委員の意見は会議録の配布等により各課長に伝え、事業に反映させるようにした。</p> <p>会議録はホームページに公開した。</p> <p>「教育委員会だより」の発行により、市民に教育委員会の内容や教育委員の考えを伝えることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>「教育委員会だより」をより多くの市民に読んでいただけるような工夫が必要である。</p> <p>【評価】</p> <p>C</p>
調査活動等の状況	<p>市外視察</p> <p>平成24年10月25日(木) ～26日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海市平州記念館 ・飛島学園 ・東海道関宿 <p>市内視察等</p> <p>平成24年5.6.7.9.10.11月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問 23校 <p>平成24年5.6.9.10月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会、体育祭 <p>平成24年6月9日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習都市「三学のまち恵那」 宣言制定1周年記念講演会 	<p>【成果】</p> <p>市外視察については、嚶鳴協議会の会長市である東海市では先人教育の先進地として、恵那市がめざす生涯学習のまちづくりの参考になる話を聞くことができ、飛島学園では小中一貫教育について意見交換や施設・授業見学を通して特色ある教育について考えることができた。</p> <p>学校訪問では、学校の状況や実際の授業の様子を視察するとともに、教職員との意見交換などを行い、学校の現状の把握や指導に努めることができた。</p>

	<p>平成 24 年 6 月 23 日（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「少年の主張」大会 <p>平成 24 年 6 月 30 日（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵那市中学校総合体育大会 <p>平成 24 年 8 月 19 日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵那市教育フォーラム <p>平成 24 年 10.11 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定校研究発表 5 校 <p>平成 25 年 1.2 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と市教委懇談会 6 回 <p>平成 25 年 1.2 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間まとめの会 3 校 <p>平成 25 年 3 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校卒業式 8 校 <p>岐阜県市町村教委連研究総会</p> <p>平成 24 年 11 月 9 日（金）</p> <p>関市</p>	<p>【課題】</p> <p>今後も継続的に現場視察を行い、事業の実施時及び施策立案時に活用を図るよう努めることが必要である。</p> <p>【評価】</p> <p>C</p>
<p>その他の事項</p>	<p>恵那市議会総務文教委員との懇談会</p> <p>平成 24 年 9 月 4 日（火）</p> <p>市長・社会教育委員との懇談会</p> <p>平成 25 年 3 月 26 日（火）</p>	<p>【成果】</p> <p>市議会議員との懇談会では、がやがや会議という形で、小中学校の統廃合、いじめ問題、教育委員会のあり方をテーマに活発な意見交換をすることができた。</p> <p>市長と社会教育委員との懇談会では、市長の生涯学習を核としたまちづくり等に関する思いを聞き、教育委員の思いを市長に直接伝えるよい機会となった。課題であった社会教育委員との懇談も短時間ではあったが行うことができた。</p> <p>【課題】</p> <p>懇談会の継続的な開催。</p> <p>社会教育委員との意見交換の機会を増やし課題について議論を深める。</p> <p>【評価】</p> <p>C</p>

【教育行政評価委員会からの意見】

1. 教育委員会の活動状況について

【総評】

教育委員会不要論が一部の自治体で叫ばれていることを報道で聞くことがある。このことは、報道から推測すると、教育委員会の指導性、公開性の弱さであり、子どもの立場、保護者の立場、教職員の立場に立つ教育行政がなされていないのではないだろうか。

当市教育委員会は、市長と教育長を核とした教育委員との連携が密に取れており、市長の思いを大切にしながらも、教育の独立性を確保した教育行政を目指していることがうかがえる。学校現場の状況を正しく理解するためのこまめな学校訪問、社会教育委員との懇談を通じて市民の生涯学習や文化などの充実を図る努力、市議会議員の協力を得る努力など、一步一步着実に成果をあげている。

問題点としては、教育行政のPR活動や、保護者の声を直接聞くことを通じてその思いを反映させることなどがあるが、今後一層レベルの高い恵那市の教育行政を目指した教育委員会の充実を期待している。

(1) 教育委員会会議の実施状況

- ・継続的に教育委員会会議を開催することで、教育委員の共通理解が図られ、同じ思いで恵那市の教育の発展に寄与されていることに敬意を表したい。
- ・教育委員会の活性化を図る上で、事務局は情報提供を継続的に行っていく必要がある。事務局は教育委員の力を活用してほしい。
- ・「教育委員会だより」の発行については、市民への周知が足りないと思われる。ホームページのみでなく広報を利用するなど、読んでもらえる工夫、「教育委員会だより」が待ち遠しいと思える工夫が必要である。
- ・小中学校の抱えている問題も会議の中で取り上げられていることはありがたい。

(2) 調査活動等の状況

- ・視察研修を行い、どのようなところが恵那市の生涯学習のまちづくりに生かせそうなのか、研修の成果が生かされることを期待する。
- ・市内小中学校の訪問を多く行っていることは、学校現場にとっては嬉しいことである。訪問して、市内の小中学校の現状についてどう感じたのか課題を明らかにしていくことが必要である。それによって恵那市の教育の方向性が見えてくるのではないかと。
- ・学校を訪問し、指導したことで学校がどう変わったか把握することが大切である。言いっぱなしではなく、どう変わっていったかを評価することで教育、学校を高め

ていくことになる。そういうことができていることは評価したい。

- 市長、議員との懇談会は開催されているが、保護者や地域との懇談会も開催してほしい。他市では取り組んでいるところもある。教育委員が直接市民の意見を聞いて教育行政に反映していくことも重要だと考える。
- 学校からの意見が教育委員会に届き、施策に反映され、恵那市の教育が変わっている様子がうかがえる。
- 保護者とのコミュニケーションをとることで、事業の進捗がスムーズに行くということも考えられる。学校との意見交換の場は多くあるが、PTAとの交流は今後の課題になるだろう。

基本目標（政策） 思いやりと文化を育む人づくりのまち

1. 学校教育の充実		
<p>地域・家庭との連携のもと、多様な学びが可能な教育内容や教育環境の充実、また交流活動を促進するとともに、安心・安全、快適な学校環境を整え、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育を実践し、次代を担う子どもたちを育成する。</p>		
サブ施策名	より質の高い教育の推進	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館読書活動推進事業 ・ 少人数指導教育推進事業 ・ 教員研修事業 ・ 国際理解（ALT）教育推進事業 ・ 学校教育情報化推進事業 ・ 特色ある学校づくり事業 ・ 奨学資金貸与事業 ・ 小中学校の適正配置検討事業 	C
取組と成果	<p>学校図書館読書活動推進事業では、巡回学校図書館司書を3名配置し、学校図書館の整備と蔵書冊数の充実を図ったことで児童生徒の貸出冊数の増加につながった。また、東濃地区学校図書館教育賞において、岩邑小学校が総合優秀賞を、恵那北小学校が優秀賞を獲得したのをはじめ、市内学校図書館教育の質的向上が図られた。</p> <p>少人数指導教育推進事業では、児童生徒をサポートする学習支援員を前年同様に26名確保するとともに、年2回の研修会を実施し、よりきめ細かな指導が行えるようになった。その結果、授業がよくわかるようになったなど、児童が充実感をもって授業に臨めるようになった。</p> <p>教育研修事業においては、職務に応じた研修、経験年数に応じた研修、教育課題研修等の実施をし、教職員の資質向上を図るよう意図した、例えば、8月に実施したパワーアップセミナーにおける教職員の満足度は、91%であり、今後の指導に役立ったという声が多くあった。また、研修で身に付けたスキル等を活用して指導の改善を行った教職員もいた。</p> <p>学校教育情報化推進事業では、自学自習力育成支援システム「みんなの学習クラブ」を導入し、各学校で授業に利用したり家庭学習に活用したりするなど、利用の推進を図った。その結果、家庭学習の方法の一つとして定着した。また、電子教科書の活用を推進することによって関連機器の使用頻度が増え、大型モニター、電子黒板、専用PC等を増やす必要が出てきた。</p> <p>特色ある学校づくり事業では、市内全学校において学校独自の工夫ある活動を実施した。各学校で地域講師を活用した講座においては、110講座を実施した。その結果、地域に学校の特色を発信し、地域の信頼を高めたり、児童生徒の自校への愛着心を高めたりする効果があった。</p> <p>小中学校の適正配置検討事業では、明智町小学校再編検討協議会において9回の会合を経て協議された結果、平成26年4月より、吉田小学校を明智小学校に編入統合するという結論に至った。</p> <p>このような取組の結果、小中学校の学校評価では、保護者アンケートの結果「総合的に見て満足・やや満足」と回答した割合が89.9%であり、目標の70.0%を大きく上回った。</p>	

サブ施策名	学校間・学校と地域の交流促進	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとふれあい交流（市内学校地域交流）事業 ・野外活動推進事業 ・食育の推進 	
取組と成果	<p>ふるさとふれあい交流事業では、12校の学校が市内の小学校と活動の交流を行った。交流の対象校は旧恵那市と旧恵南であったり、同じ特色をもつ学校であったり、同規模の学校であったりした。交流により、自校の特色をより認識したり、恵那市をより広い視野で知ることができた。</p> <p>野外活動推進事業では、21校において実施しており、学校ではできない体験をすることにより、仲間や自分のよさや可能性を発見することができた。</p> <p>食育の推進では、各学校において食育推進年間計画を作成し、食育を実施している。本年度は、とくに山岡地域において文部科学省指定「栄養教諭を中核とした食育推進事業」の公表会を実施した。市内において食育の重要性が認識された。</p> <p>また平成24年度は、それぞれの事業が各学校にとってより効果的なものになるよう検討し、事業の再編を行うよう次年度にむけての方針を出すことができた。</p>	C
サブ施策名	相談しやすい環境づくり（心のケア）	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育体制推進事業 ・不登校等対策事業 	
取組と成果	<p>特別支援教育体制推進事業では、恵那市においてトータルサポート事業の指定を受け、恵那東中学校区をモデル地区として実施した。大井小学校においては、大井、二葉、杉の子、城が丘幼稚園との連携によるスタートカリキュラムの作成等により、幼小のスムーズな接続ができた。また、この事業により、市内の幼稚園・保育所及び小学校において、幼・保と小との連携及び接続の重要性が認識された。</p> <p>不登校等対策事業では、配置した「心の相談員」や「学習支援員」の支援によって、不登校児童生徒の割合は、小学校においては、前年度に比べ大きな数値の変化はないが、家庭からの相談室登校の数値が増加した。</p>	C
サブ施策名	学校施設等の整備	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全対策事業 ・中野方小学校プール改築事業 ・小中学校給食用昇降機改修事業 ・小中学校施設防災機能確保事業 ・小学校危険遊具改修事業 ・東野小学校校舎大規模改造事業 ・恵那市学校給食センター維持運営費 	C

<p>取組と成果</p>	<p>学校施設の整備では、全小中学校施設の耐震化は、平成23年度において完了したため、児童・生徒の安全確保のために学校施設家具等転倒防止対策を行った。</p> <p>繰越事業となっていた、武並小学校太陽光発電設備設置事業及び東野小学校プール改築事業を実施した。太陽光発電設備設置事業では、児童玄関にモニターを設置し、CO2削減や再生エネルギーなどに関する環境教育の充実を図ることができた。また、東野小学校プール改築事業では、プールの水を浄化し災害時の生活用水として活用できる浄化槽を設置し、避難所機能の向上を図ることができた。</p>	<p>C</p>
<p>未達成の課題と今後の取組</p>	<p>恵那市においては、少子化により複式の学級や10人に満たない学年が多くある。子どもたちがより良く教え合い学び合えるための適正な規模の学校再編を討議する場を設定する。</p> <p>特色ある学校づくり推進のため、学校の創意工夫を活かした教育活動を推進する。</p> <p>いじめや不登校の未然防止を図るため、ハイパーQ Uテストを導入し、いじめや不登校が減少するように取り組む。また、学力アップを図るために性格と学力の相関関係分析と適正な学習方法を知るためのCRT検査を全学校に導入し、学力アップを図る。</p> <p>学校施設の整備では、平成25年度は東野小学校大規模改修事業及び屋内運動場非構造部材耐震工事を実施する。</p>	

2. 生涯学習の推進		
<p>市民の誰もが生涯を通じて、それぞれの意欲や興味に応じた自発的・自主的な学習活動を実践し、その成果が自分とともに社会に生かせ、市民一人一人の生きがいにつながるよう、「恵那市三学のまち推進計画」に基づき、学習機会の拡充や体制整備、施設や図書館機能の充実を図る。</p> <p>また、郷土の先人佐藤一斎の社会に役立つ有為な人になろうと生涯学び続ける「三学の精神」を理念に、読書に親しみ、学びを広げ、学んだことを地域社会に生かす市民三学運動を市民とともに進める。</p>		
サブ施策名	生涯学習機会の拡充	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習市民三学運動啓発事業 ・成人教育（高齢者学級）の推進 ・地域づくり（住民企画参加型公民館活動） ・中央コミュニティセンター運営事業 	C
取組と成果	<p>「恵那市三学のまち推進計画」に基づき、「子どもも大人も高齢者もみんな学んで幸せになろう」を合言葉に、生涯学習、成人教育、人権教育、家庭教育支援などを推進し、市民三学地域委員会が実施する市民三学地域塾の開講を通して、事業を啓発、推進した。</p> <p>生涯学習都市「三学のまち恵那」宣言1周年を記念した講演会を含め生涯学習講演会を開催し、多くの方の参加を得た。</p> <p>生涯学習の拠点となるコミュニティセンターでは、市民講座を354講座開講し、4,894人が受講した。その他、文化まつり、こどもフェスタ、地域づくり事業などを行い、13館全体の利用者は延べ188,124人であった。</p> <p>まちづくり学習出前講座は、280件の申込みがあり、延べ18,894人が受講した。</p>	
サブ施策名	生涯学習体制の充実	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市民三学運動推進委員会の設置 ・市民三学地域委員会の設置（13地域） 	C
取組と成果	<p>生涯学習を推進する拠点となる組織として職員3名からなる「生涯学習まちづくりセンター」を恵那文化センター内に設置した。また、公民館講座、出前講座など従来の体系を整備し、平成25年度から新しく「恵那市民大学」としてスタートできるよう大学連携講座など各種講座を準備した。</p> <p>3年目となった市民三学運動推進委員会及び市民三学地域委員会では、地域塾の内容充実と参加者の拡大を図った。</p> <p>市民三学運動の柱のひとつ「読書のすすめ」の拠点施設である恵那市中央図書館では、郷土学習指導員や地域住民に光を注ぐ交付金を財源に雇用された2名の職員による充実した展示会、図書館運営が展開された。</p>	

サブ施策名	生涯学習施設の整備	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区コミュニティセンター改修事業 ・ バリアフリー推進事業（エレベーター設置事業） ・ 恵那市民会館管理運営事業 	
取組と成果	<p>岩村コミュニティセンターでは第2期大規模改修工事を実施し、屋根、外壁、大ホールなど改修した。中コミュニティセンターでは耐震補強工事とエレベーター設置工事を、また三郷コミュニティセンターでは、エレベーター設置を含めたバリアフリー工事を実施した。高齢者や身体障害者の方々にも利用しやすい施設となった。</p> <p>東野・笠置・飯地コミュニティセンターの図書資料の登録が完了し、すべてのコミュニティセンター図書室のネットワーク化が実現した。これにより地区コミュニティセンターにおいても図書システムによる貸し出しと返却ができるようになり、読書推進活動の地域拠点として一層充実を図ることができた。</p>	C
サブ施策名	読書推進と図書館機能の充実	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恵那市中央図書館読書活動推進事業 ・ ブックスタート事業 	
取組と成果	<p>恵那市中央図書館は、開館から5周年を迎え、今年度図書16,170冊を整備して、平成24年度末蔵書冊数204,397冊となった。年度末利用登録者23,497人、年間貸出し冊数373,052冊、年間貸出し利用者数77,387人、年間来館者数300,004人で、市民一人当りの利用冊数は6.9冊と県下でも上位の利用状況となっている。</p> <p>保育園及び乳幼児学級への読み聞かせを79回、小学校等へのブックトークは8回実施した。</p> <p>図書配送便を活用し、市内23小中学校のリクエストに応じて18,531冊を配送した。また地域サービスとして地域コミュニティセンターへの配送本は6,319冊、遠隔地返却サービスは5,413人、予約図書受取サービスは383冊の利用があった。</p> <p>読書活動推進では、図書館ボランティア「図書館サポーターえな」を中心に、各機関へ働きかけ、天の川イベント、朗読フェスティバル、図書修理などの事業を行った。</p> <p>また、子どもの読書活動を推進するために、ブックスタート、25歳の絵本、よんで、よんで、この本よんで（ファーストメッセージ）、セカンドメッセージ、お話の会などを実施した。</p> <p>地域における読書活動を推進するための組織は、上矢作町、中野方町、武並町に続き、平成24年度から東野、明智町でも結成され、地域の住民のニーズにあわせた事業の展開を図った。特に、上矢作コミュニティセンター図書室のブックサポーター上矢作では、学校へ出かけての読み聞かせなどの本を通して地域をつなぐ活動が評価され、文部科学省の優良公民館表彰を受賞した。</p> <p>巡回学校図書館司書については、3人を恵那西中・大井第二小・岩邑小に拠点配置しながら、全ての学校図書館の充実を図った。</p>	C

<p>未達成の課題と 今後の取組</p>	<p>生涯学習都市「三学のまち恵那」をより積極的に推進する体制を強化するため、生涯学習まちづくりセンターを拠点に、市民大学恵那三学塾を開催する。また、市民三学運動推進委員会や地域委員会による地域塾の開講などを支援する。</p> <p>市中央図書館では、児童サービス、地域サービス、郷土資料室充実の3つの重点事業を中心に、読書活動の推進を図る。また、子どもの読書活動推進計画を検証し時代に沿ったものに見直していく。</p> <p>地区コミュニティセンターのバリアフリー化を含めた施設整備を進めるとともに、中央コミュニティセンターと12地区コミュニティセンターを中心に、市民講座の充実や地域づくりの推進に努め、生涯学習環境の充実を図る。</p>
--------------------------	--

3. 人を育み、人を生かす教育		
<p>家庭、学校、地域社会が一体となって、次代を担う青少年の健全育成や親と子の豊かな心を育む家庭教育、社会性や協調性を育む地域教育、人権教育などを進める。</p>		
サブ施策名	青少年の健全育成	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会活動支援事業 ・青少年育成市民会議事業 	C
取組と成果	<p>恵那市子ども会指導者連絡協議会及び青少年育成町民会議が実施する事業を通じて、市内子ども会の活動を支援した。インリーダー研修会では33人の参加を得て自然体験を含めた実習を体験し、カルタ取り大会では151人が参加し、日本に伝わる伝統的な文化遊びを学んだ。また地域活動育成事業により各地の子ども会行事を市役所ロビーにて紹介し、他地域への参考事例とした。</p> <p>青少年育成市民会議と各町民会議では、季節に合わせ各種事業を実施し、延べ14,705人の参加を得た。また、青少年育成市民会議と市PTA連合会が連携し、子育て親育ちフォーラムや少年の主張大会の開催、下校時見守りあいさつ運動の実施などにより、青少年の健全育成に努めた。</p>	
サブ施策名	家庭教育・地域教育の充実	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育事業の推進 ・子ども教室推進事業 	C
取組と成果	<p>恵那市家庭教育支援計画に基づき、パパママ学級、ひよこパパママ学級、乳幼児学級を開催した。また、家庭教育を推進するため、市内3幼稚園、15小学校、8中学校に家庭教育学級運営補助金を支給し、学ぶ機会づくりを支援した。乳幼児学級は、仲間づくりや家庭教育、子どもの社交性を養う場として13コミュニティセンターで開催され、281組の親子が参加した。</p> <p>子どもの自主性、社会性を育み、体験・交流の場となる子ども教室は、昨年同様大井小学校、大井第二小学校、長島小学校、岩邑小学校、山岡小学校、飯地・串原コミュニティセンターの7ヶ所で実施し、年間で延べ73回の教室を開催し、2,432人の参加があった。それぞれの教室における実行委員会、サポーター組織も徐々に充実し、地域の皆さんの協力を得ながら、事業を進めている。</p>	
サブ施策名	人権教育の充実	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重教育の推進 	C
取組と成果	<p>青少年育成市民会議と連携し、少年センター補導員の委嘱式に合わせて、児童養護学校白鳩学園園長石田公一さんを講師に迎え、「子どもに寄り添う ～社会的養護と子どもの権利～」と題し子どもの人権について学ぶ機会を提供した。女性、障がい者、同和問題などの各種人権問題に対する啓発が必要であることがわかった。</p>	

<p>未達成の課題と 今後の取組</p>	<p>恵那市放課後子どもプラン推進協議会では、基本指針に基づき、子ども教室と放課後児童クラブが連携した事業展開に向けての協議を行う。また、両者の共通したテーマによる研修会なども開催し、相互のスタッフのスキルアップを目指す。</p> <p>子ども教室では、平成24年度は課内のスタッフ不足を補うため、各7教室の実行委員会等組織の充実に努め、新規の教室は開催しなかったが、平成25年度は前年度に引き続きケーブルテレビを活用して広くPRしながら新しい地域での子ども教室開催を目指す。</p> <p>市内では、子どもの減少により子ども会活動が消滅した地域があり、青少年育成市民会議と市子連などの団体同士の連携（地域では青少年育成町民会議と子ども会）が不可欠となってきた。同時に、単Pが行う家庭教育学級の内容を充実し、親が積極的に学ぶ家庭教育に取り組む。</p> <p>平成22年に見直した第2期恵那市家庭教育支援計画「ステップ親子学びプラン」に沿ったパパママ学級、乳幼児学級、家庭教育学級等の施策の充実に図りながら、各事業を検証し見直しを図る。</p>
--------------------------	--

4. 文化・芸術活動の振興		
市民が文化・芸術に触れられる機会を充実するとともに、文化関連施設の効率的な管理運営の検討を含めた施設の充実を進め、市民の文化・芸術活動の活発化を図る。		
サブ施策名	文化・芸術活動の振興	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恵那文化劇場の充実 ・ 中山道広重美術館事業 ・ 恵那市文化振興会の育成支援 	
取組と成果	<p>恵那文化センターと明智かえでホールでは合わせて7本の自主事業を実施し入場者数は5,094人、サンホールくしはらでは1事業を実施し、入場者数は150人であった。</p> <p>中山道広重美術館は、春は「名所江戸百景」を、秋は「木曾海道六拾九次之内」「今昔東海道山下清と歌川広重東海道五十三次」など特別企画展を3回開催した。また、郷土ゆかりの文化人「北原白秋展」「江戸の奇才歌川国芳木曾街道六拾九次之内」「狂歌人東海道」などの企画展を開催した。</p> <p>教育普及事業では、連続講座やこども版画コンクールなど各種事業を開催し、市民の美術館としての取り組みを行った。入場者数は、昨年を若干下回る14,821人であった。</p> <p>市から職員を派遣し、公益財団法人恵那市文化振興会の公益財団法人としての適切な運営を支援した。</p>	C
サブ施策名	文化・芸術施設の整備	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化・芸術施設の効率的な運営 	
取組と成果	<p>恵那文化会館と明智かえでホールの2施設について、利用しやすい環境の創出、市民サービスの向上等の観点から、自主事業の予算・企画運営と舞台管理業務の一元化を実施した。</p> <p>明智かえでホールでは、ピアノ等を無料開放し児童生徒に学習の機会を提供した。サンホールくしはらでは、文化祭やこども歌舞伎の伝承に利用されるなどし、伝統芸能の伝承に寄与した。</p>	C
サブ施策名	文化・芸術の育成・PR	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恵那市伝統芸能大会事業 ・ 恵那市文化祭開催事業 	
取組と成果	<p>第23回伝統芸能大会は、総勢250人の出演者と、延べ1,229人の来場者を迎え、各地域の伝統芸能を通じて合併後の市民の一体感を醸成することができた。</p> <p>第55回文化祭を9月からの約3ヵ月間、12種目にわたって開催、4,687人の参加者があった。</p>	C

未達成の課題と今後の取組	<p>第56回を迎える文化祭は、内容の充実と参加者増に向けた企画を検討する。</p> <p>中山道広重美術館では、例年の教育普及事業（連続講座、木版画講座、子どものためのワークショップ、版画コンクール）を行いながら、新しいジャンルの企画展示を取り入れ、市民に親しみやすい企画と関連イベントを開催するとともに、メインラウンジを活用し、展覧会企画と連携した自由参加型体験コーナーを企画実施する。また、地元商店街や商工会議所との協働事業を引き続き進める。</p> <p>公益財団法人恵那市文化振興会と公益財団法人中山道広重美術館の公益財団法人としての適切な運営を支援する。</p>
--------------	---

5. 文化財の保護

古くから郷土に受け継がれている文化財や伝統芸能に対する理解を深め、大切に保存・育成し、後世に伝承していく。また、学習資料・観光資源としてのPRと活用に努める。

サブ施策名	文化財の調査研究・評価	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・重要文化的景観保護推進事業 ・埋蔵文化財保護の標準化 ・岩村城・岩村城下町・美濃国遠山荘総合調査事業 ・文化財の調査・保存・活用 	C
取組と成果	<p>県史跡岩村城跡は、国補助による遺構確認調査等の取りまとめを行った。また、石垣の支障木の伐採を行い、石垣保存に努めた。</p> <p>歴史資料調査については、旧家から寄贈された古文書や山岡郷土史料館所蔵資料などの整理を行い、調査・保存に努めた。</p>	
サブ施策名	文化財の保存・活用	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・笠置ヒトツバタゴ自生地保存整備事業 ・大船山周辺・松並木参道・アライダン教育林・新田の桜整備事業 ・正家廃寺跡保存整備事業 ・岩村城下まちなみ保存事業 ・上矢作松並木保護整備事業 ・八王子神社社殿（明智町）拝殿保存修理補助事業 ・中山道保存修景整備事業 	C
取組と成果	<p>県重要文化財八王子神社社殿は、所有者の行う修理事業に補助を行うとともに、修理を指導した。</p> <p>史跡正家廃寺跡は、用地買収（約9割を公有地化した。）立木補償を国の補助を受けて行った。</p> <p>中山道保存修景整備事業では、文化庁の補助金を活用して明治天皇大井行在所と笹屋林家の調査と記録作成を行った。</p> <p>中山道ひし屋資料館では、企画展やイベントを実施し、大井宿の歴史と文化の情報発信に努めた。</p> <p>岩村まちなみ保存事業では、伝統的建造物群保存地区内の建造物の修理修景工事に補助を行い、監理・指導をするとともに、市指定文化財木村邸の保存修理にも取り組んだ。</p> <p>坂折の棚田の文化財としての保存と活用に向けて、地元関係者との協議を図った。</p>	

サブ施策名	伝統文化の伝承	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・文化伝承教室の実施 ・恵那市伝統芸能大会事業（再掲） ・恵那市文化振興会の育成支援（再掲） 	
取組と成果	<p>第10回下田歌子賞では、「母」をテーマにエッセイと短歌を募集、エッセイ854件（昨年778件）、短歌1,431首（昨年1,186首）の応募があり、1月19日に表彰式と記念イベントを実施し、顕彰と情報発信に努めた。</p> <p>美術展で芳翠大賞の授与を継続し、先人顕彰に努めた。</p> <p>第12回岐阜県獅子芝居公演を実行委員会により中津川市の芝居小屋「明治座」で開催、6団体が8演目を上演し、300人の入場があった。</p> <p>第22回恵那市伝統芸能大会の実施により、発表の機会を提供し保存伝承に努めた。</p> <p>恵那市伝統文化こども教室実行委員会を結成し、文化庁の「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」により、市内4団体が年間を通じて、児童・生徒を対象に地歌舞伎と篠笛の伝承教室を開催し、文化芸能の伝承に努めた。</p> <p>市から職員を派遣し、公益財団法人恵那市文化振興会の公益財団法人としての適切な運営を支援した。</p>	C
未達成の課題と今後の取組	<p>岩村城跡では、石垣の保存のため、引き続き支障木の伐採を行う。正家廃寺跡は指定地の完全公有地化を進める。</p> <p>中山道は国史跡申請の方法について、文化庁と協議を行う。中山道ひし屋資料館では、自主企画展やイベントを実施するほか、市民による利活用の促進を図る。</p> <p>岩村町の伝統的建造物群保存地区では、引き続き保存修理を進める。また、伝統的建造物群保存地区保存会の設立準備を支援する。</p> <p>岩村歴史資料館は、所蔵品の整理を進め、展示のリニューアル等に努める。</p>	

6. スポーツ活動の振興

市民一人一人が、それぞれのライフスタイルに応じて、日常生活の中で主体的にスポーツに親しみ、明るく健康で活力のある生涯を送るために、地域コミュニティにおける生涯スポーツを推進する。また、スポーツを通じて個人やチームの連帯感を高め、自己実現を果たすことができる競技スポーツを推進するとともに、スポーツに取り組むことができる施設環境を整備する。加えて、スポーツイベントを開催し、市内外のスポーツ交流を促進する。

サブ施策名	地域スポーツの推進	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツ組織（総合型クラブ含む）支援事業 ・「体育の日」開催事業 ・野外活動推進事業 ・地域スポーツ推進委員設置事業 	C
取組と成果	<p>子どもから高齢者まで生涯を通じてスポーツに親しめる場合は、生活に最も身近な地域であることから、地域のスポーツ組織の支援を行なった。支援の内容は、総合型地域スポーツクラブ（5クラブ）、スポーツネット岩村、13地区の体育協会に対して、運営補助金の交付、施設使用料の優遇、各種イベント開催時の調整等。総合型スポーツクラブの事業参加者数は、50,833人で昨年の48,685人に対して2,148人の増加となりスポーツ参加の機会増大を進めた。</p> <p>また、生涯スポーツのコーディネーターとして、スポーツ推進委員22名を委嘱し、研修会の開催等の生涯スポーツ意識の醸成に努めた。地域スポーツ推進委員の設置により各地域を舞台としたスポーツ行事の推進を図った。</p>	
サブ施策名	スポーツをする機会の増大	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・恵那市体育連盟支援事業 ・スポーツ教室開催事業 ・スポーツポイント実施事業 	C
取組と成果	<p>競技スポーツを推進・強化するために、（財）恵那市体育連盟に加入する競技団体に対して運営助成金の交付等の支援を行った。</p> <p>また、競技スポーツの推進に向けて指導者養成講習会を開催し33名の受講者を育成した。</p> <p>スポーツをするきっかけ作りとしてのスポーツ教室を全22教室開催し、延べ3,429人の方に受講して頂いた。</p> <p>ぎふ清流国体の開催を契機に選定された「スポーツキャラクター（ハナッキー、サリーナ）」を活用し、スポーツを身近なものとして親しみを持っていただくとともに地域アイデンティティの形成に努めた。また国体を契機に開始した「スポーツポイント事業」を継続実施しスポーツイベントへの参加者数の増大に努めた。</p>	

サブ施策名	スポーツをする場の提供	評価
<p>主要事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校施設の地域開放事業 ・ まきがね公園体育館改修事業 ・ 学校施設の地域開放事業 ・ 県営スケート場の管理運営 ・ 山岡グラウンド暗渠排水事業 ・ 社会体育施設（指定管理外）修繕事業 	
<p>取組と成果</p>	<p>生涯スポーツ・健康スポーツを推進する地域の拠点として学校開放施設の提供を行ない、延べ241,880人の方の活用に供用した。</p> <p>また、地域拠点施設（学校開放施設）を補完し、多種目、多機能に対応したスポーツ施設（広域スポーツ施設）を提供し、271798人の利用者に対し安全・安心な施設サービスを提供した。</p> <p>岐阜県からクリスタルパーク恵那スケート場の指定管理をうけ、恵那市の伝統スポーツであるスケートの「場の提供」を行うと共に、ジャパンカップの開催等各種競技会の開催等により、55,306人の利用者を迎え、スケート振興に努めた。</p> <p>まきがね公園スポーツ施設、山岡・明智B&G施設、上矢作プール、弓道場等13施設の指定管理を行い管理の効率化や専門化への対応を行った。</p>	C
サブ施策名	スポーツ交流の促進	評価
<p>主要事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恵那峡ハーフマラソン開催事業 ・ 日本大正村クロスカントリー開催事業 ・ 市民体育大会開催事業 ・ 国体実行委員会の運営 ・ 国体弓道協議の開催 	
<p>取組と成果</p>	<p>第11回恵那峡ハーフマラソン大会を開催し、2,683人の参加があり、昨年度の参加者2,196人を487人上回った。開催当日は、市民手作りの「トン汁」「お汁粉」等のおもてなしに選手から感謝の声が多く寄せられた。</p> <p>第29回大正村クロスカントリーを開催し1,615人の参加があり、昨年度の参加者1,538人を77名上回った。開催当日は、マッサージコーナーやスポーツドリンクのサービス、抽選会等参加選手に好評を得た。</p> <p>市民体育大会を開催し、21種目1677人の参加を有した。</p> <p>10月6日～9日に「ぎふ清流国体弓道競技会」を開催し、26,600人の来場者を迎え盛會を得た。</p>	C

<p>未達成の課題と 今後の取組</p>	<p>山間部の少子高齢化や過疎化の進展、都市部での人間関係の希薄化等の要因から、地域コミュニティーの衰退が懸念されている。それに伴い、地区体育協会の衰退や総合型スポーツクラブの会員数の減少等により地域におけるスポーツの機会が減少している。</p> <p>生涯を通じて健康で暮らし、イキイキとした地域を創り出すためには、地域コミュニティーを基盤とするスポーツ推進組織を育成強化することが急務であるとともに、世代それぞれの課題に対応したスポーツ施策の推進が必要であり、乳幼児、児童・生徒、成年等それぞれに応じ、教育関係者等との連携や高齢者を対象とした「エイジレス」等のスポーツ推進の枠組みの形成が必要であると思われる。そのために、早急に三つの取り組みが求められている。</p> <p>一つ目は、市民のニーズをとらえた「スポーツ推進計画」の策定である。上記課題の解決を多様な主体の参画に基づいて計画的に推進する枠組みの創出である。</p> <p>二つ目は、スポーツ推進計画に打ち出された施策を専門の視点、競技者の視点、地域の視点、障害者の視点、高齢者の視点、地域活性化の視点等で検証（計画内容、実施方法、対応方針の検証）する組織の設置運営。</p> <p>三つ目は、スポーツ推進を総合的・包括的に委託している（一財）恵那市体育連盟の位置づけと役割の検証である。ガバナンス的な取り組みが期待される。さらに、スポーツを推進する（新しい公共における）多様な主体の一つであることの認識と、設立の経緯から強い公共性を有する団体であることから果たすべく（公共の）事業プログラムの明確化とそのPDCAの枠組みの設置が急務である。</p>
--------------------------	--

【教育行政評価委員会からの意見】

1. 教育委員会の行う事務事業の執行状況について

【総評】

恵那市の教育の基本目標「思いやりと文化を育む人づくりのまち」の具現を図るため、学校教育をはじめ5つの分野で着実に成果を上げていることは評価したい。

成果を上げている要因として、各分野において具体的な施策を立て、目標（数値など）を明確にして事業を進めていることがある。目標達成を目指した事業展開では、その手立てがより具体的になり、実施状況の把握もきめ細かくその都度行われているからである。現場主義に徹し、教育委員会事務局の職員が自分の目で確認、評価することができているのである。

今後も恵那市の教育の充実発展のために、教育長を中心に組織的、計画的に現場により多く足を運び、施策の良し悪しを評価し業務を進めてほしい。

(1) 教育委員会主要事業について

- ・小中学校の適正配置検討事業では、吉田小学校と明智小学校の統合が着実に行われたことを評価したい。吉田小校区の住民の思いが統合してからどのように変容していくのかを見守ってほしい。明智の子どもたちが統合してよかったと思える教育を期待する。
- ・滞納分の給食費が児童手当から徴収できるようになったことは評価できる。更なる工夫を期待したい。
- ・学校では電子黒板の活用が高まっている。デジタル教科書の時代に入ってきているので、電子黒板の充実を期待する。
- ・保、小、中の連携で就学指導の部分はまだまだ課題があるが、徐々によくなってきているので事業の全市的な広がりを期待する。
- ・基礎学力の定着については、「みんなの学習クラブ」等の活用の成果があったことはよかった。アンケートを行った結果の分析を行い、さらなる活用に活かしてほしい。
- ・教師の力として、子どもと一緒に活動（遊び、掃除など）する力が必要である。たとえ忙しくても、子どもと接する時間によって教育ができる。忙しいからといってそのことを省いては教師の資格はない。生活指導力と授業力のある教師を多く、そのために、自主研修を求める意欲ある教師を育てていくことが望まれる。
- ・若手教員の育成についてきちっと行われていると感じた。
- ・学校のホームページは更新回数が増えないと魅力はない。更新ができている学校がなぜできるのか参考にしてほしい。
- ・学校施設の整備が計画的に進められていることは評価できる。子どもたちが学び

に集中できるように、安全に生活できるような環境づくりを進めていってほしい。

- ・地域スポーツ推進委員の活躍の場はあるのか。委員の意識と地域体協との協力関係はどうか。
- ・市民体育大会の見直しなどスポーツに対する動きや方向性は出つつあると思われるが、若者が集まる環境づくりをもっと積極的に早くやらないと若者の流出が進んでしまう。少子化で部活ができなくなっているところもあるので、スポーツを通じて子どもたちの居場所づくりや若者の集える環境づくりを考えた施策が望まれる。

(2) 恵那市総合計画施策について

- ・学校間の交流事業の推進を望む。それにより子どもたちが改めて地域のよさを感じることができるのではないか。
- ・読書推進、図書館機能の充実が積極的に行われていることは評価できる。保護者に対する読み聞かせの研修が継続して行われるとよい。学校での読み聞かせに父親の参加も呼びかけている。父親が研修に参加できる環境ができることを望む。
- ・家庭教育が全ての教育の根底にあるべきものとする。地域での研修機会の充実が望まれる。
- ・家庭教育学級の充実や、30・40代の世代の学ぶ場、生涯学習に取り組んでいける施策の充実、それに学校教育が一緒になってかかわっていくというような環境づくりがこれからますます必要になっていくのではないか。
- ・生涯学習環境の充実で、市民が講師を体験する機会ができたことはよかった。さらに推進していくとよい。
- ・文化財の保護については、このまま継続し充実していくことを期待する。
- ・スポーツ活動の振興においては、地域の実情を調査し、過疎地域のスポーツ振興をどう図っていくか工夫が望まれる。
- ・各競技団体によるスポーツ人口の掘り起こしの奮起を期待する。
- ・現在は小・中・高校まででスポーツを卒業する者が多く、以前（20～30年前）のように成人のスポーツクラブ（同好会）参加者が少ない。スポーツ振興対策の工夫が望まれる。
- ・スポーツ経営は、①運動を指導する人（指導者）②運動する場の提供（運動場、体育館）③運動する機会の提供（各種大会）④運動しない人への働きかけ（広報）この4つの視点から考えてほしい。
- ・総合計画の施策は、若年層と高齢者層に対しては充実しているが、中間層に対するものがない。

参 考 資 料

- ◆ 惠那市教育委員会点検評価実施要領
- ◆ 惠那市教育委員会組織図
- ◆ 平成24年度惠那市教育委員会提出議案等

恵那市教育委員会点検評価実施要領

平成 21 年 7 月 24 日恵那市教育委員会告示第 14 号

(目的)

第 1 条 この要領は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号。以下「法」という。）第 27 条第 1 項に規定する点検及び評価について、必要な事項を定めるものとする。

(評価事項)

第 2 条 教育委員会は、前年度の次の各号に掲げる教育委員会の取組みについて点検及び評価を実施する。

(1) 教育委員会の活動状況に関する事項

ア 教育委員会の会議の実施状況

イ 教育委員会の調査活動の状況

(2) 事務事業の執行状況に関する事項

ア 恵那市総合計画に掲げる主要施策の執行状況

イ 恵那市総合計画に掲げる主要施策の執行による成果

(3) その他教育委員会が必要と認める事項

(点検評価の手順)

第 3 条 教育長は、前年度における前条第 1 号及び第 3 号に掲げる事項について、教育委員会会議等の点検及び評価（様式第 1 号）により、点検及び評価を行うものとする。

2 前年度における前条第 2 号に掲げる事項についての点検及び評価は、市が実施する総合計画管理チェックシートにより行うものとする。

3 教育長は、第 1 項及び第 2 項の結果を教育委員会に報告する。

4 教育委員会は、前項の報告を基準として、点検及び評価を実施する。

(評価委員会の設置)

第 4 条 教育委員会は、法第 27 条第 2 項の規定により、同条第 1 項の点検及び評価を行うに当たって教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、恵那市教育行政評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第 5 条 委員会は、教育委員会の求めに応じ、第 3 条の点検及び評価を行うに当たり、意見を述べるものとする。

(委員)

第6条 委員会は、5人以内の委員で組織し、委員会の委員は、優れた識見を有する者その他教育委員会が適当と認める者のうちから教育委員会が委嘱する。

2 委員の任期は2年とし、再任されることができる。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第7条 委員会に、委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選による。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指定した委員がその職務を代理する。

(公表)

第8条 教育委員会は、法第27条第1項に規定する点検及び評価の結果に関する公表について、ホームページにより行うものとする。

(委任)

第9条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

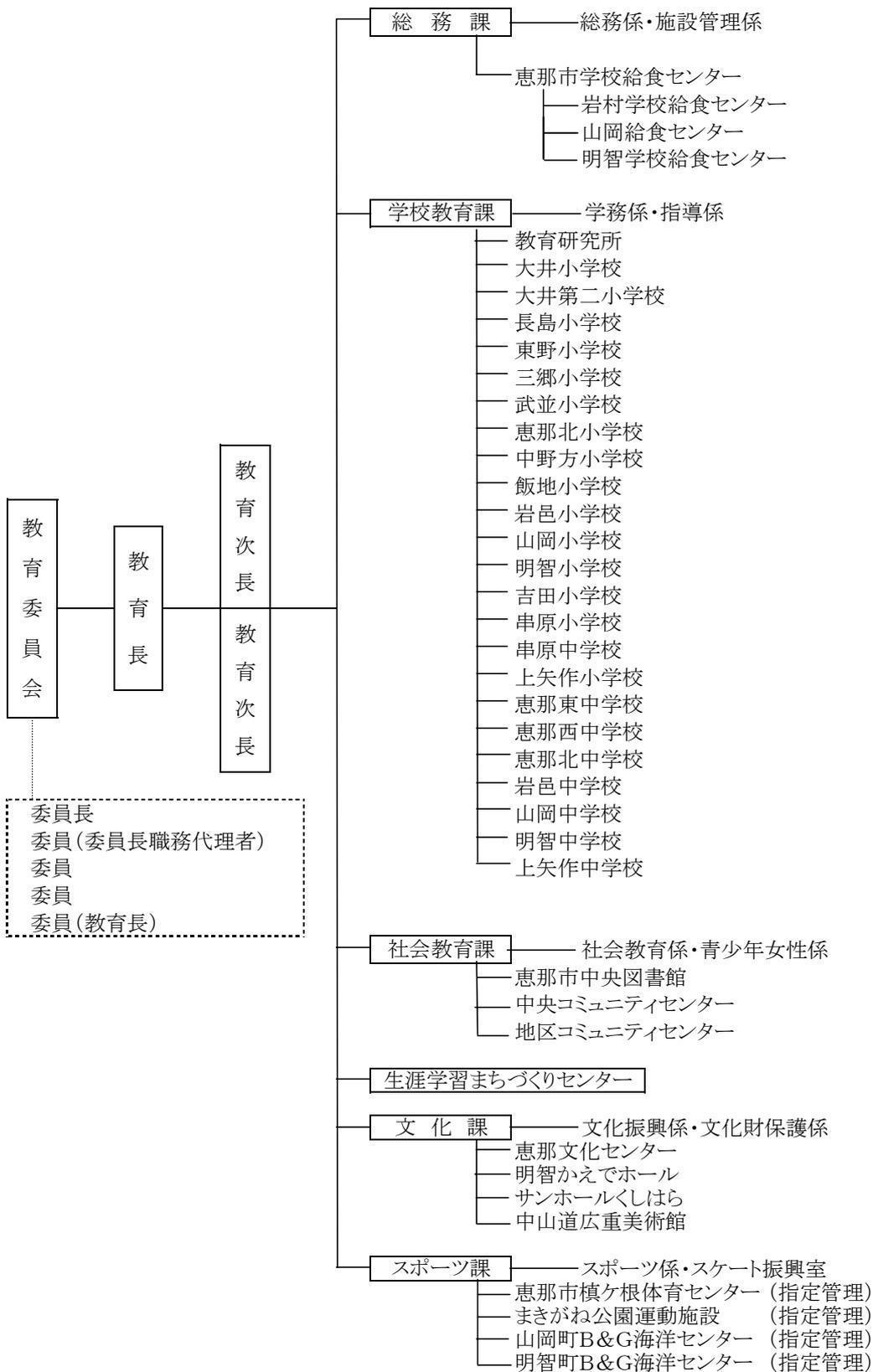
この告示は、告示の日から施行する。

様式第1号（第3条関係）

教育委員会会議等の点検及び評価

	実 績	成 果 ・ 課 題
教育委員会会議の実施状況		
調査活動等の状況		
その他の事項		

恵那市教育委員会の組織図



平成24年度恵那市教育委員会提出議案等について

委員会回数	議決年月日	議案番号	提出議案等
第5回定例会	平成24年4月27日	議第10号	恵那文化センター及び恵那市明智かえでホール物品販売等事務取扱要綱について
		報告事項	報第1号 平成24年度教育委員会主要事業について 報第2号 恵那市の小中学校のトピック(5月)について 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 5月の行事予定について
第6回定例会	平成24年5月29日	議第11号	恵那市教育委員会会議等の点検及び評価(平成22年度)
		議第12号	平成24年度岐阜県教科用図書東濃地区採択協議会の設置について
		議第13号	恵那市生涯学習まちづくりセンターの設置について
		議第14号	岩村町本通り伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について
		議第15号	史跡正家廃寺跡保存管理計画の制定について
		報告事項	報第1号 平成24年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(6月)のトピックについて 報第3号 平成24年度恵那市青少年育成市民会議総会及び第8回少年の主張大会開催について 報第4号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第5号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第6号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第7号 教育委員会訪問(前期)について 報第8号 6月の行事予定について
第7回定例会	平成24年6月22日	議第16号	平成23年度主要事業、恵那市総合計画施策別点検評価
		議第17号	恵那市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
		報告事項	報第1号 平成24年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(7月)のトピックについて 報第3号 恵那市教育フォーラム2012について 報第4号 恵那市中央図書館開館5周年記念式典について 報第5号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第6号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第7号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第8号 7月の行事予定について
第8回定例会	平成24年7月27日	議第18号	平成25年度使用教科用図書の議決について
		報告事項	報第1号 平成24年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(8月)のトピックについて 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について

第8回定例会	平成24年7月27日	報告事項	報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 8月の行事予定について 報第7号 教育委員会訪問日程について 報第8号 運動会日程について
第9回定例会	平成24年8月27日	議第19号	恵那市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
		報告事項	報第1号 平成24年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(9月)のトピックについて 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 9月の行事予定について 報第7号 教育委員会点検・評価報告書(平成23年度評価)について 報第8号 「総務文教委員と教育委員と語る会」の開催について 報第9号 教育委員会視察研修について 報第10号 教育委員会訪問日程について
第10回定例会	平成24年9月26日	報告事項	報第1号 平成23年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(10月)のトピックについて 報第3号 通学路緊急合同点検のまとめについて 報第4号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第5号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第6号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第7号 10月の行事予定について 報第8号 教育委員会視察研修について 報第9号 教育委員会訪問日程について
第11回定例会	平成24年10月25日	報告事項	報第1号 平成24年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(11月)のトピックについて 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 11月の行事予定について
第12回定例会	平成24年11月27日	議第20号	文化財の指定解除及び指定について
		報告事項	報第1号 吉田小学校と明智小学校の統合についての検討結果報告 報第2号 平成24年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第3号 恵那市の小中学校(12月)のトピックについて 報第4号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第5号 中山道広重美術館月別観覧者数について

第12回定例会	平成24年11月27日	報告事項	報第6号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第7号 12月の行事予定について
第13回臨時会	平成24年12月12日	議第21号	吉田小学校と明智小学校の統合について
第14回臨時会	平成24年12月16日	議第22号	恵那市教育委員会教育長の任命について
第15回定例会	平成24年12月25日	議第23号	恵那市スポーツ推進委員の選任に関する要綱の一部を改正する要綱について
		協議事項	協第1号 教育委員会広報紙「(仮称)教育委員会だより」の発行について
		報告事項	報第1号 恵那市市民大学「恵那三学塾」の内容について 報第2号 平成24年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第3号 恵那市の小中学校(1月)のトピックについて 報第4号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第5号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第6号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第7号 1月の行事予定について 報第8号 学校・市教委懇談会と中間まとめの会について
第1回定例会	平成25年1月25日	議第1号	恵那市招致外国青年就業規則の一部を改正する規則について
		議第2号	財産の取得について(史跡正家廃寺跡史跡指定地)
		議第3号	恵那市スポーツ推進委員に関する規則の一部を改正する規則について
		協議事項	協第1号 財産の取得について(史跡正家廃寺跡史跡指定地)
第2回定例会	平成25年2月22日	報告事項	報第1号 平成24年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(2月)のトピックについて 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 職員の交通事故に係る処分について 報第7号 2月の行事予定について 報第8号 恵那市小・中学校卒業証書授与式について 報第9号 市長との懇談会について(社会教育委員会と合同)
		協議事項	協第2号 平成24年度3月補正予算について 協第3号 平成25年度恵那市一般会計予算について
		報告事項	報第1号 平成23年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(3月)のトピックについて 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 3月の行事予定について 報第7号 恵那市小・中学校卒業証書授与式について
第3回臨時会	平成25年3月7日	議第4号	平成25年度教職員の人事について
第4回定例会	平成25年3月26日	報告事項	報第1号 平成23年度教育委員会主要事業の進捗状況について

第4回定例会	平成25年3月26日	報告事項	報第2号 恵那市の小中学校(4月)のトピックについて 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 4月の行事予定について 報第7号 平成25年度教育委員会開催日について
--------	------------	------	--

平成25年度（平成24年度対象） 教育委員会点検・評価報告書

発行 恵那市教育委員会

〒509-7492 恵那市岩村町545-1

電話：(0573) 43-2112（内線）311

FAX：(0573) 43-4137